

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	人とクマが安心・安全にすみ分ける真田町の美しい里山づくり
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ピッキオ 北佐久郡軽井沢町長倉 2148
事業区分	⑤環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,048,807円 (うち支援金: 732,000円)

### 事業内容

真田町はクマをはじめ多くの野生動物が生息する豊かな里山を擁する一方で、農林業や観光客、スポーツ利用者など、野外での人間活動が活発な地域である。あまり知られてこなかったクマの実態を把握し、その成果を含めて、多様な関係者がクマや自然について語る場を持つことによって、人とクマが共存していくために何ができるのか考える土台をつくる。

- ・クマの捕獲とGPSの装着: オス(7月18日、菅平高原)、メス(8月21日、渋沢)
- ・クマの行動追跡: 7月~12月、週1~2回
- ・座談会の開催: 11月12日、菅平高原国際リゾートセンター、約100名参加

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①支援金を活用して、真田町で初めて、野生のツキノワグマのオスとメス各1頭にGPS首輪を装着して、行動追跡調査を開始できた。
- ②座談会「真田のクマを語る集い」を実施し、町内外の約100名の参加者と真田町のクマについて考える機会を持つことができた。
- ③座談会の参加者に対してアンケート調査を実施し、今後のとりくみについて意見を出していただき、今後の方向性を考える上での判断材料を得た。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業を通じて、真田町の捕獲従事者、野外活動団体、長野大学の研究者、学生、長野県、上田市の担当者ほか、さまざまな方々と膝を交えて話し合う機会を得た。座談会のアンケートの結果からも、地域の皆様は総合的な対策を望んでいることがわかったため、勉強会の開催や追跡調査については予算を確保して、来年度以降も引き続き実施していく予定である。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



「クマを語る集い」で子供たちと

### 【目標・ねらい】

- ①真田町の里山に生息するクマの実態解明
- ②住民、行政、狩猟者間の情報共有や意思疎通の活発化
- ③人とクマが安心・安全にすみ分ける美しい里山づくりに寄与

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

- ・2頭の追跡により、真田のクマの実態が明らかになりつつある。
- ・座談会を通じて、クマについて考えるきっかけを提供した。